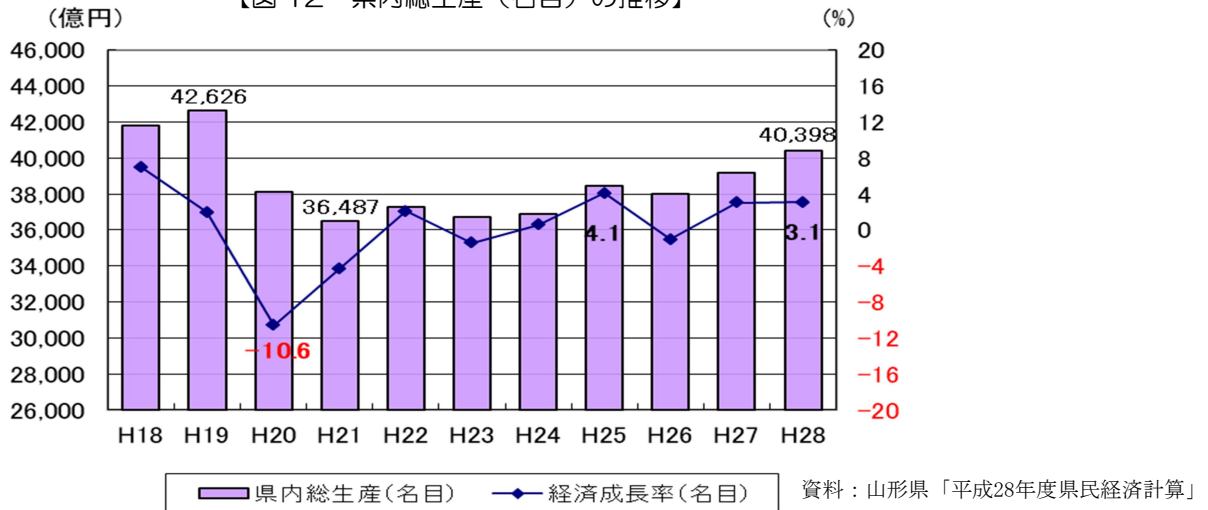
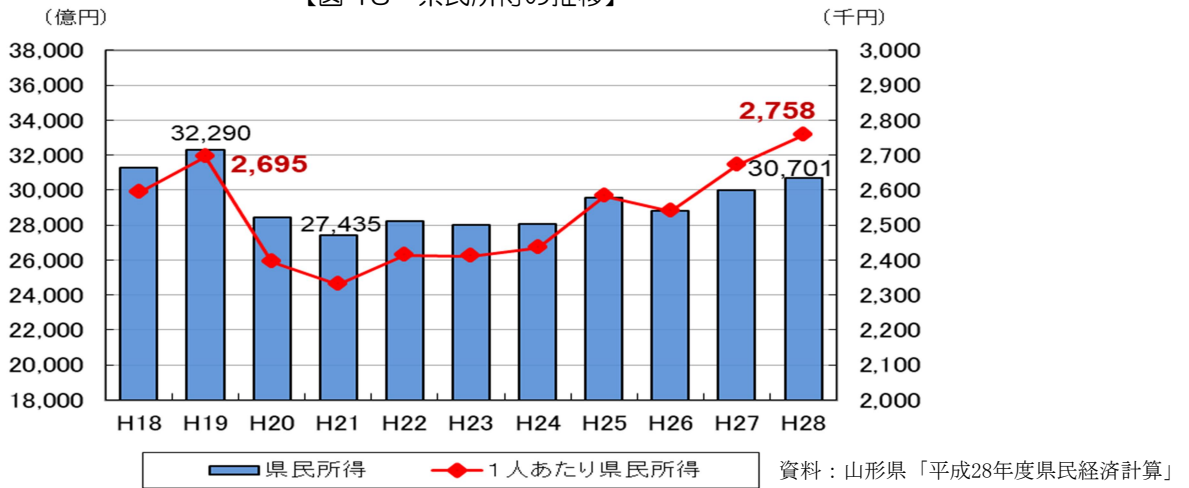


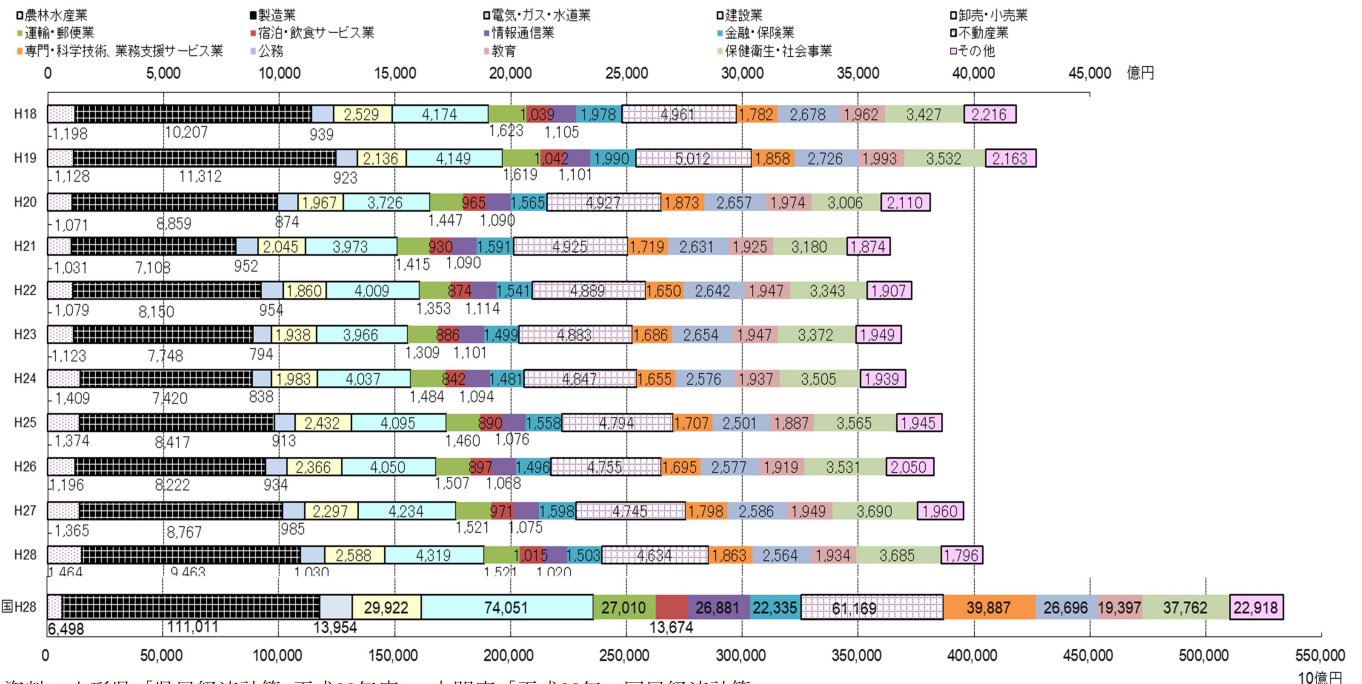
【図 12 県内総生産（名目）の推移】



【図 13 県民所得の推移】

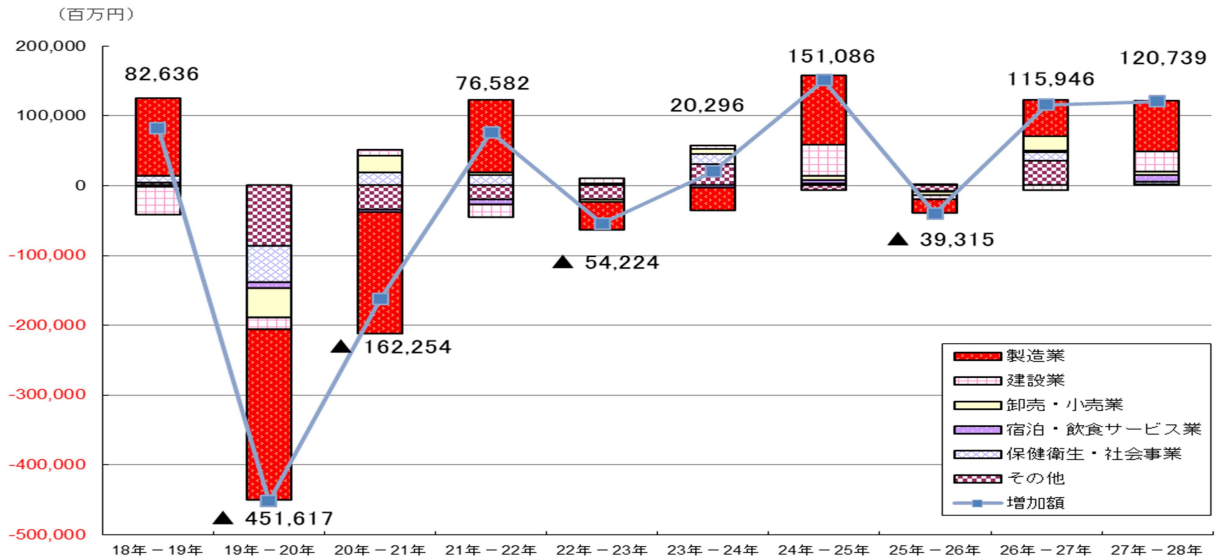


【図 14 県内総生産の産業別内訳（名目・金額ベース）】



また、県内総生産に対する経済活動別の推移を見ると、本県の基幹産業である製造業の好・不調が大きな影響を及ぼす傾向にある。

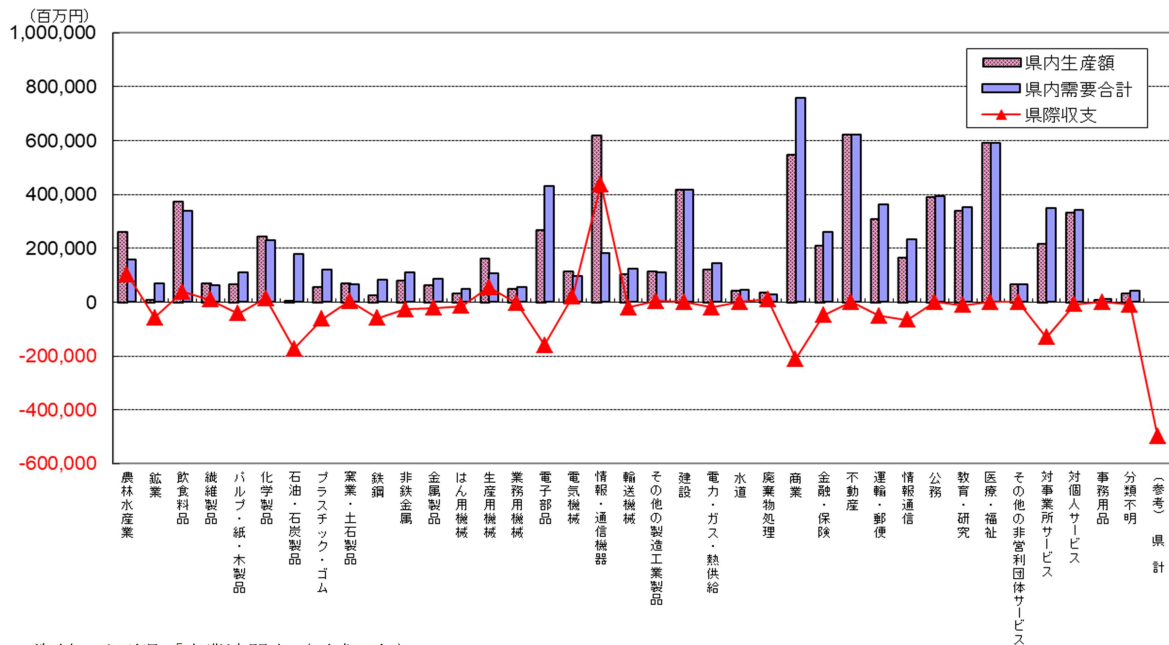
【図15 経済活動別の前年度増減数の推移】



資料：山形県「県民経済計算 平成28年度」

県外との取引の状況は、県全体としては移輸入¹超過で、業種別の収支では特に商業分野の移輸入超過額が大きくなっている。その一方で、製造業の一部業種や農林水産業は移輸出²超過となっており、県外に製品や商品売り出す「稼ぐ産業」となっている。

【図16 県際収支³の状況 (H23)】



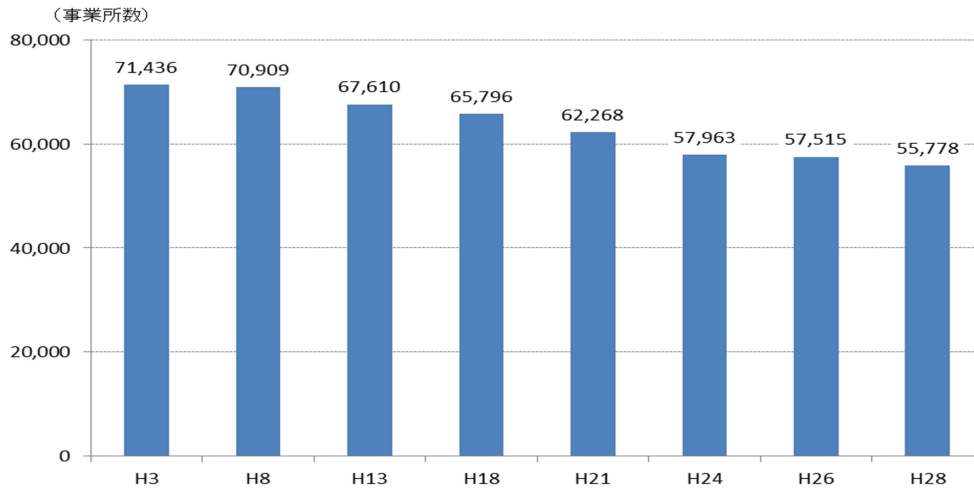
資料：山形県「産業連関表 (平成23年)」

1 移輸入：県外で生産された商品やサービスを県内で購入すること
 2 移輸出：県内で生産された商品やサービスを県外へ販売すること
 3 県際収支：移輸出額－移輸入額

(ウ) 企業数、工場立地数

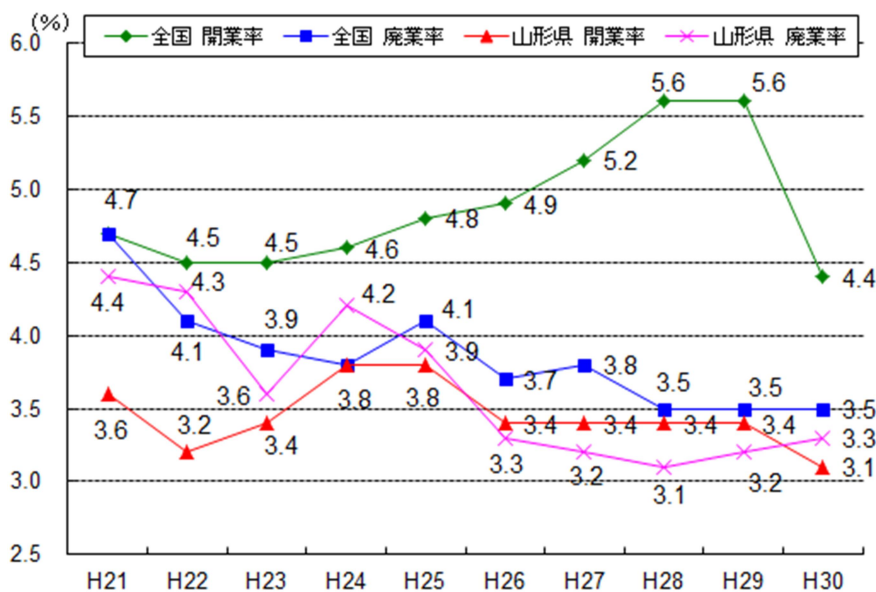
県内企業の数、平成3年以降減少傾向にある。また、県内事業所の開業率は全国平均を下回る値で推移している。

【図17 県内企業数の推移】



資料：総務省「事業所・企業統計」、「平成21・26年経済センサス基礎調査」、「平成24・28年経済センサス活動調査」

【図18 山形県、全国における開業率⁴、廃業率⁵の推移】



資料：厚生労働省「雇用保険事業年報」

一方、地域経済に大きな活力をもたらす工場立地の件数は、平成26年以降全国的に増加しており、本県においても、直近3カ年は東北平均を上回り、全国平均に近い数字で推移している。

新たに起業を目指す者や新分野進出、新たな取組みにチャレンジする企業、地

⁴ 開業率：一定の期間中に新規開業した事業所数の年平均を、その期間の初めに存在していた総事業所数で割った比率

⁵ 廃業率：一定の期間中に廃業した事業所数の年平均を、その期間の初めに存在していた総事業所数で割った比率

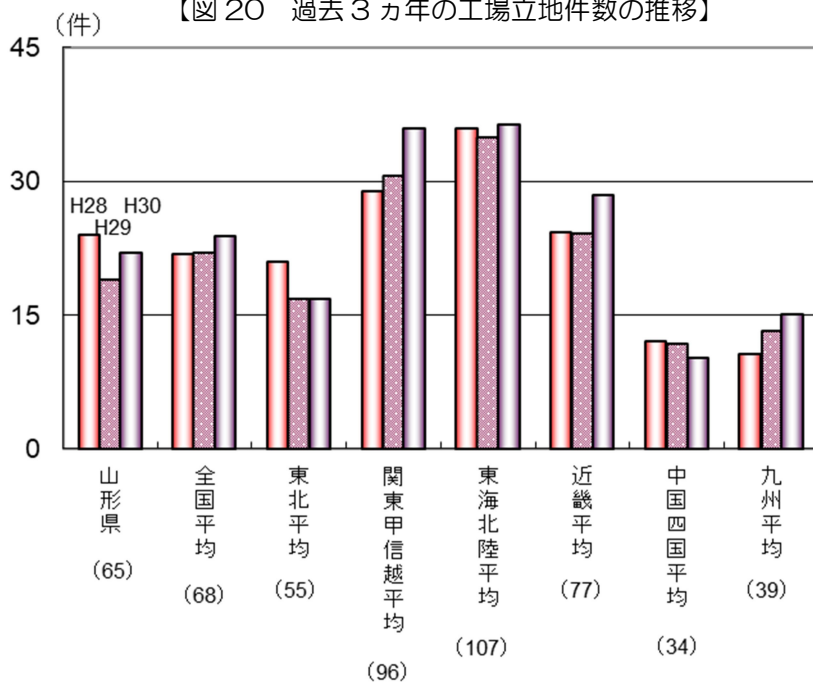
域の課題に積極的に対応する企業等への支援に加え、県内外の企業による県内への一層の投資を促すことなどにより、県内経済の活力を更に高めていくことが求められる。

【図 19 工場立地件数（全国）】



資料：経済産業省「工場立地動向調査」

【図 20 過去3カ年の工場立地件数の推移】



資料：経済産業省「工場立地動向調査」 () 内の数値は、過去3カ年の合計数

(I) 本県のブランド力

本県では、地域間競争の激化に対応し、本県経済の活性化と地域産業の振興を図るため、「知っていただき、買っていただき、訪ねていただける『やまがた』の実現」を目標とする「山形県総合ブランド戦略」を平成22年11月に策定し、県産品等のブランド力向上と地域イメージの発信・活用に取り組んでいる。

令和元年の民間調査会社の調査結果によれば、本県の魅力度は全国27位、認知度は全国32位と中位～下位に位置している。